

第7回 科学の甲子園ジュニア

全国大会結果報告

全国大会

福岡県代表チーム

(久留米大学附設中学校

筆記競技第5位!!

福岡市立平尾中学校)

■主催

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

■期日・会場

令和元年12月6日(金)～8日(日)
つくば国際会議場・つくばカピオ
(茨城県つくば市竹園)

■出場チーム

各都道府県の代表47チーム
(各チーム6人)

■日程

12月6日(金)
開会式、オリエンテーション
12月7日(土)
筆記競技、実技競技①、②、
交流会
12月8日(日)
エキシビジョン、表彰式

開会行事

自作の旗を持ち、
会場へ入場しま
した。



<全国大会では>
競技以外にも、交流会、エキシビジョン等が行われ、科学
を楽しく学ぶ2泊3日でした。出場選手の旅費と宿泊費、
食費等については、主催者のJSTが負担して実施されました。

実技競技①

実技競技①は、野外での活動を含
む3つの課題を時間内に解決
していくものでした。課題1で
は円磨度の測定、課題2ではタ
ブレットを用いて緯線の長さを
求め、課題3では、湖水や湾の
固有の振動数(セイシュ)につい
て、比例定数を求めました。



実技競技②

実技競技②は、事前に内容が
公開されている競技で、縦
60cm×横60cmの亚克力板
上で、磁石を車輪にした回転
体を転がし、点数が設定され
たチェックポイントを通過す
ることで得られる得点を競い
ました。



全国大会では、チームの仲間との絆を深めるだけでなく、他県のチ
ムの人と触れ合う機会がたくさんあり、「とても楽しかった!」です。
今回、僕たちのチームは、実技競技ではうまくいかないこともありま
したが、筆記競技では結果を残すことができました。みなさんも楽しんで
きてください。【久留米大学附設中学校第1学年:矢山 聡一朗さん】

今回、全国大会に出場して、本番の大切さを強く感じました。練習で
はできていても、本番では力を発揮できないチームもあれば、練習では
できていなかったのに、本番では大成功を収めるチームもありました。
大会では、本番に強いかどうかが試されます。入念に準備して、本番に
臨んで下さい。また、全国の科学好きの人たちとぜひ仲良くなって下さ
い。【久留米大学附設中学校第1学年:田村 慶和さん】

今回、僕たちは優勝できなかったけど、みんなで力を合わせて頑張る
ことができました。納得のいく結果を残すにはチームワークと事前の対
策が重要になってきます。ぜひ、来年は優勝できるように頑張ってください!
【久留米大学附設中学校第1学年:藤原 貴良さん(チームキャプテン)】

福岡県代表チームから、 来年度挑戦する友達へのメッセージ



総合成績では良い結果を残すことはできませんでしたが、仲間と協力し、
筆記競技で第5位入賞を勝ち取ることができました。苦しい思いもしま
したが、とても楽しかったです。問題が難しくして解けないこともあると思
いますが、仲間と協力して落ち着いて取り組めば大丈夫です。頑張ってください。
【福岡市立平尾中学校第2学年:蛭原 直飛さん】

全国大会では、チームで優勝を目指して頑張るだけでなく、全国の仲間
と交流し、素晴らしい経験をすることができました。どの競技も一番大切
なのはチームワークです。的確に役割分担をし、効率よく進めてほしいで
す。チームで協力してぜひ優勝を掴み取ってください!
【福岡市立平尾中学校第2学年:高岡 美花さん】

全国大会は一言でいうと、「楽しかった!!」です。全国のライバルと
交流したり様々な体験をしたりと、中学校生活の中で最高の思い出になる
と思います。来年以降、上位大会に挑戦するみなさんには今回の僕たちの
結果を超える成績を残してほしいです。頑張ってください。そして何より
も楽しんでください。【福岡市立平尾中学校第2学年:秀島 琉斗さん】

◆ 科学の甲子園ジュニアとは? ◆

「科学の甲子園ジュニア」は、全国の中学生在が科学と実生活のつながりに気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場を提供することを目的として平成25年に創設された大会です。科学の知識だけでなく、創意工夫、チームワーク、技能を競い合い、全国の仲間と科学を楽しむことができるのが魅力です。全国の予選参加者は、28,000人以上で、今年度は、全国大会に282人が参加しました。次年度も「科学の甲子園ジュニア」が開催されます。科学の楽しさ、ものづくりにチャレンジしてください。